

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2014-166136(P2014-166136A)

【公開日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2014-33000(P2014-33000)

【国際特許分類】

H 02 M	1/08	(2006.01)
H 02 M	7/537	(2006.01)
H 02 M	7/5387	(2007.01)
H 02 M	3/28	(2006.01)
H 02 M	3/155	(2006.01)

【F I】

H 02 M	1/08	A
H 02 M	7/537	E
H 02 M	7/5387	
H 02 M	3/28	T
H 02 M	3/155	T

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月1日(2017.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

したがって、キャパシタC<sub>a</sub>に、第2のトランジスタT<sub>2</sub>のゲートGの放電およびトランジスタT<sub>2</sub>のドレイン-ソースの浮遊容量C<sub>o2</sub>の充電によって電荷が自動的に供給される。この自動的な電力の供給は、第1のトランジスタT<sub>1</sub>をオフにする段階において生じる。この段階において、ツエナーダイオードD<sub>z1</sub>がクランプされ、逆方向に導通する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

図5A：制御ユニットUが、第1のトランジスタT<sub>1</sub>のゲートGにターンオフ信号を送る。第1のトランジスタT<sub>1</sub>のドレイン-ソース電圧V<sub>Ds1</sub>が高まり始め、ツエナーダイオードD<sub>z1</sub>の端子間の電圧V<sub>Dz1</sub>の上昇をもたらす。電流I<sub>p</sub>(変圧器の一次電流)が、第2のトランジスタT<sub>2</sub>のゲートGを通じて流れ、ツエナーダイオードD<sub>z1</sub>の浮遊容量C<sub>z</sub>、第1のトランジスタT<sub>1</sub>の浮遊容量C<sub>o1</sub>、およびキャパシタC<sub>a</sub>の容量を充電し、コンバータのダイオードD<sub>1</sub>の浮遊容量C<sub>p</sub>を放電する。この電流I<sub>p</sub>が、ツエナーダイオードD<sub>z1</sub>の端子間の電圧V<sub>Dz1</sub>およびキャパシタC<sub>a</sub>の端子間の電圧V<sub>a</sub>の上昇を可能にする。また、第2のトランジスタT<sub>2</sub>のゲートGの放電も可能にする。しかしながら、第2のトランジスタT<sub>2</sub>は依然として導通状態である。